

| | | | |
|------|-------------|----------------------|----|
| 授業科目 | 理学療法基礎セミナー1 | 3 学年・前期・1 単位 (30 時間) | |
| | | 理学 | 必修 |

| | | | |
|---------|--|-----------------|----|
| 科目担当責任者 | 谷口圭吾 (保健医療学研究棟 E402 号) e-mail : ktani@sapmed.ac.jp | 非常勤講師 連絡担当教員 | |
| 担当教員 | 理学療法学科全教員 | | |
| 概要 | 理学療法の専門領域を学ぶためのリテラシーの形成と醸成をはかる。各テーマに基づく専門用語とメカニズムを学習し、専門雑誌を独力で読む能力を養成する。また、数種の論文をまとめて、簡単なレビューとして記述することを学ぶ。さらに、収集した情報を整理・分析し、ある意図をもってプレゼンテーション資料を作成し、それをもとに発表する。これらの活動を通して、理学療法領域の研究の概要を把握し、それぞれの専門領域の知識を深める。 | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 各セミナーのテーマに沿った知識を深め、疑問や問題点を解決するための手段を説明できる。 2. 各セミナーのテーマに応じた論文を読むことができる。 3. 数種の論文をまとめて簡単なレビューを作成することができる。 4. 情報収集や分析を行い、それをまとめてプレゼンテーション資料を作成することができる。 5. 作成したプレゼンテーション資料をもとに適切に発表できる。 | | |
| 関連科目 | 理学療法研究法、理学療法基礎セミナー2 | | |
| 評価 | 評価対象 | 評価割合(%) | 備考 |
| | 学習過程(発表) | 50% | |
| | 成果物 | 50% | |
| | | | |
| | | | |
| 教科書 | 指定なし | | |
| 参考書 | ①木原雅子, 木原正博 訳 [2014 年] 「医学的研究のデザイン」 メディカル・サイエンス・インターナショナル | | |
| 履修上の留意点 | 詳細は担当教員の指示による | | |

| 実施回 | 内 容 | 事前・事後課題 | 形態 | 担当教員 |
|-----|---------------------------|------------|------------|------|
| 1 | 授業の進め方のガイダンス、卒業研究に向けたプロセス | 担当教員の指示による | 講義・演習・実験など | 全教員 |
| 2 | 研究リテラシーの醸成 | 担当教員の指示による | 〃 | 〃 |
| 3 | 研究リテラシーの醸成 | 担当教員の指示による | 〃 | 〃 |
| 4 | 研究リテラシーの醸成 | 担当教員の指示による | 〃 | 〃 |
| 5 | 研究リテラシーの醸成 | 担当教員の指示による | 〃 | 〃 |
| 6 | クリティカルレビューの方法と実践 | 担当教員の指示による | 〃 | 〃 |
| 7 | クリティカルレビューの方法と実践 | 担当教員の指示による | 〃 | 〃 |
| 8 | クリティカルレビューの方法と実践 | 担当教員の指示による | 〃 | 〃 |

| | | | | |
|----|-------------------|------------|---|---|
| 9 | クリティカルレビューの方法と実践 | 担当教員の指示による | 〃 | 〃 |
| 10 | クリティカルレビューの方法と実践 | 担当教員の指示による | 〃 | 〃 |
| 11 | 興味、関心領域についての要約と発表 | 担当教員の指示による | 〃 | 〃 |
| 12 | 興味、関心領域についての要約と発表 | 担当教員の指示による | 〃 | 〃 |
| 13 | 興味、関心領域についての要約と発表 | 担当教員の指示による | 〃 | 〃 |
| 14 | 興味、関心領域についての要約と発表 | 担当教員の指示による | 〃 | 〃 |
| 15 | 興味、関心領域についての要約と発表 | 担当教員の指示による | 〃 | 〃 |